

学 校 教 育 目 標	夢や希望をもち、心豊かでたくましく生きる児童の育成
目 指 す 学 校 像	あいさつが響き 一人ひとりのよさが輝く 楽しい学校
重 点 目 標	1 確かな学力の向上 2 生徒指導・教育相談の充実 3 家庭・地域の教育力を生かした取組の推進 4 健康な心と体・安全な美しい学校 5 教職員働き方改革

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、
方策の評価指標」を設定。

達	A	ほぼ達成	（8割以上）
成	B	概ね達成	（6割以上）
度	C	変化の兆し	（4割以上）
	D	不十分	（4割未満）

学 校 自 己 評 価							学校運営協議会による評価	
年 度 目 標							実施日令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等
1	(現状) ○全国学力・学習状況調査において、国語・算数ともに全国平均にわずかに及ばない結果であるが、国語「書くこと」は平均を上回っている。 ○日頃の学習の様子から、興味のあることにに関しては、意欲的に取り組む児童が多い。 (課題) ○全国学力・学習調査の結果から、国語における無回答率が全国平均より高いことから、問題解決を途中であきらめてしまう傾向があることがわかる。 ○同結果から、国語「読むこと」や算数「変化と関係」「数と計算」に課題が見られる。 ○さらに意欲的に学習に取り組めるよう、学習の自律化やICTの効果的な活用を進めていく。	「確かな学力の向上（特に読む力）」と「主体的な学びの推進」の両輪をICT機器を有効的に活用しながら相互連携した授業改善に取り組む。	①読書を楽しむ気持ちを育て、読書習慣をみにつけるために、読書タイム、図書ボランティアさんによる読み聞かせ、読書カード活用、読書の日の励行、多読書賞表彰など、年間を通して実施する。 ②児童が主体的に取り組める活動を取り入れた授業を計画し、実践する。また、めあてをより明確にした授業を展開し、授業後の振り返りを分析し、子どもたちに「わかりやすい授業」を提供する。	①学校評価（児童アンケート）において、読書の項目で「そう思う」の回答（R6 62%）の割合が65%以上になったか。 ②学校評価（児童アンケート）において、「わかりやすく教えてくれる」の項目で「そう思う」の回答（R6 77%）の割合が80%以上になったか。				
		学ぶ楽しさを実感できるように、児童が主体的に学びを進められる時間を創出する。	①「学びのポイント（ じ・し・や・く ）じぶんで、 思考し、やってみる、クラウド を使って」を意識した授業を実施していく。 ②「STEAMS TIME」を中心として、探求的な学びや教科横断的な単元を創出し、児童が学ぶ楽しさを実感できる授業を展開する。	①学校評価（教職員アンケート）において、「子どもが学習課題解決に主体的に取り組んでいる」の項目で「そう思う」の回答（R6 13%）の割合が20%以上になったか。 ②学校評価（児童アンケート）において、「課題解決に進んで取り組んだ」の項目で「そう思う」の回答（R6 54%）が57%以上になったか。				
2	(現状) ○Sola る一む使用の申し込みは3名(R6)であり、使用頻度はそれぞれ差異があるが、年間を通して活用した。 ○教職員はアンテナを高く張り、子どもたちの課題にいち早く気付けるように努めている。 (課題) ○教職員の生徒指導や保護者対応に対する迅速かつ正確な情報共有と組織的な対応力の育成と、児童一人ひとりに寄り添い、適切なタイミングで組織的に支援していく体制づくりが必要である。	児童の実態や保護者の希望に寄り添い、Sola る一むを運用していく。	①教員の生徒指導、教育相談等の指導力向上に向けた研修を実施する。また、児童一人ひとりに寄り添い、組織で丁寧に対応していく。 ②校内学習室、保健室、会議室等、Sola 室として使用可能な部屋の整理整頓をする。	①学校評価（保護者アンケート）において、「子どもは個の発達や実態に応じた指導を受けている」の項目で「そう思う」の回答（R6 22%）が25%以上になったか。 ②校内学習室、保健室、会議室等、整理整頓されているか。				
		いじめのない明るい学級づくりを念頭に、生徒指導・教育相談の充実に取り組む。	①児童の悩みやトラブル等に気付き、迅速に適切に対応できる教職員を育成できるよう、生徒指導、教育相談にかかる研修を行い、教職員の資質向上に努める。 ②児童の悩みやトラブルに対し、組織対応していく体制をつくるために、迅速かつ詳細な情報共有を促していく。	①学校評価（児童アンケート）において、「困ったことを学校の先生に相談する」の項目で「そう思う」の回答（R6 55%）が60%以上になったか。 ②学校評価（保護者アンケート）において、「教職員は子どもたちの悩みやトラブルに適切に対応している」の項目で「そう思う」の回答（R6 25%）が30%以上になったか。				
3	(現状) ○学校運営協議会では、子どもたちに付けたい力である「進んであいさつができる」について、概ね達成できていると評価を得ている。 ○学校運営協議会、SSN、防犯ボランティア連絡会を定期的に開催し、保護者や地域の方に、本校の教育活動や児童の様子を周知している。 (課題) ○学校運営協議会における、子どもたちに身に付けさせたい力の一つである「自分のよさを知り、自信へとつなげる」を具現化していくこと。 ○目指す児童の姿を家庭・地域・企業等に広め、地域に住み、地域に集う全ての方々と共有できるようにする。児童に育みたい力について熟議し、その実現に向けた方策を定め、継続的な行動に向けて取り組む。	目指す児童の姿を地域全体で共有するためにHPの活用・教育活動の公開を進める。	①学校だより、授業参観・懇談会等の校長挨拶、学校運営協議会等において、学校の取組や児童の様子を更に積極的に発信する。 ②学区内の5つの登校コースを管理職が毎月巡回し、登校の実態を把握すると共に、地域の方々とコミュニケーションを深める。	①学校評価（保護者アンケート）において、「学校の取組や子どもたちの様子がわかる」の項目で「そう思う」の回答（R6 25%）が30%以上になったか。 ②毎月、学区内にある5つの登校コースを巡回し、地域の方とコミュニケーションをとったか。				
		学校運営協議会の熟議内容を保護者、地域の方と連携した教育活動を実現する。	①学校HPに、児童の活動を紹介するページを作成し、毎月更新したり、学校運営協議会の取組を紹介したりすることでより多くの方に周知する。 ②学校運営協議会に児童自身が参加し、地域と協働して学校づくりが行えるようにする。	①学校HPを毎月1回以上更新し、児童の様子や学校の出来事等を保護者や地域の方に迅速に情報提供することができたか。 ②学校運営協議会の全3回において、児童が参加して取組を発表する機会を設けることができたか。				
4	(現状) ○施設設備や敷地内樹木の老朽化が進み、修繕箇所や伐採の必要なものが年々増加しているため、教育委員会へ相談している。 ○安全点検を分掌毎、定期的に実施している。修繕必要箇所は教頭が集約し、修繕可能な箇所は用務担当、事務職員、教頭等が対応している。 (課題) ○樹木の巨大化と老朽化が進み、落ち葉が敷地外に落ちることや、樹木の伐採要望等で、近隣住民からご指摘をいただくことがある。 ○子どもたちの学習を保障するために、落ち着いて学習を進められる教室環境づくりを進める。	安心・安全で美しい学校づくりに向けた教育環境づくりの推進	①教科等部会毎に分担した校内安全点検を継続的に実施する。 ②児童、教職員が学校美化に主体的に取り組めるように、HP、学校だより、講話等を通して継続的に発信していく。	①学校評価「美しい学校づくり」（保護者アンケート）の項目において、肯定的評価（R6 79%）を81%以上に向上させる。 ②学校評価「校務分掌が確実に機能している」（教職員アンケート）項目において、「そう思う」（R6 19%）を21%以上に向上させる。				
		集中して学習に取り組める美しい教室環境づくりの推進	①教職員や児童、保護者等と積極的にコミュニケーションをとり、子どもたちが主体的に掃除することを促すと共に、修繕必要箇所を早期発見し、修繕に努める。 ②年間を通し、継続的に校内巡視を行い、修繕箇所をあらいだし修繕していく。	①学校評価「環境美化に努めている」（教職員アンケート）の項目において、「そう思う」（R6 37%）を40%以上に向上させる。 ②学校評価「一生懸命に掃除に取り組んでいる」（児童アンケート）の項目において、「そう思う」（R6 66%）を70%以上に向上させる。				
5	(現状) ○各学年とも、教員同士が協力して、学年経営に取り組んでいる。また、本部職員も献身的に協力し、協働体制が整っている。 ○ICT を効果的に活用した授業づくりに取り組んでいる。 (課題) ○児童の学習理解を深めるために、ICT 活用を更に加速させていく。 ○主体的な活動や本時のまとめを意識した授業実践を重ねる。	教職員一人ひとりが「教え方改革」を意識して教材研究に取り組む。	①教職経験に応じた業務・授業改善について助言し、研修受講奨励を継続的に発信する。 ②組織的にICT機器を活用した授業方法の研究や授業相談会を実施すると共に、ICT 活用に特化した校内研修を毎月1回実施する。	①年間を通して一人2研修受講できたか。 ②ICT 活用に関する校内研修を年間10回実施できたか。 ③学校評価（教職員アンケート）において、「端末を活用した学習活動を進められたか」の項目で「そう思う」の回答（R6 50%）が65%以上になったか。				
		学校課題研修の取組が教員一人ひとりのフェーズに合った形でそれぞれの資質向上につながる取組。	①主体的な活動や本時のまとめを意識した授業実践となっているかを管理職による教室訪問等で見届け、必要に応じて指導・助言する。 ②学校課題研修の内容が教員の資質向上につながり、一人ひとりの負担にならないように、全教員が協働できる研修になるように、教員と対話していく	①学校評価（教職員アンケート）において、「教材研究を充分に行い、教科指導を行った」の項目で「そう思う」の回答（R6 37%）が40%以上になったか。 ②学校評価（教職員アンケート）において、「学校課題研修に主体的に取り組んだ」の項目で「そう思う」の回答（R6 25%）が30%以上になったか。				